

地域おこし協力隊「地元就職マッチング支援プログラム」

目的

地域の人手不足が深刻な分野（第一次産業・観光・医療福祉・保育等）に協力隊員をマッチング。
3年間の活動期間で適応・研修・実務を経て、任期終了後にそのまま地元就職・定住するモデルを構築する。

背景と課題

- 地域の主要産業である農業・観光・福祉分野で深刻な人手不足
- 短期離職の多さや採用コストの高さ
- 協力隊制度を活用すれば、実質“3年かけた長期お試し採用”が可能

プログラムモデル

■ 受け入れ先候補

- 第一次産業（6次化志向）：農業実務＋加工・直売・販売企画など
- 観光・宿泊業：民宿・観光案内・イベント運営・インバウンド対応
- 医療・福祉・保育：施設支援、保育補助、福祉車両運転など

■ 活動期間中の支援内容

- 適性診断・業務OJT・資格取得支援
- 地域企業とのマッチング調整
- 定期フォローアップと就職支援面談

■ 任期終了後の展開

- 就職：受け入れ先にそのまま雇用
- 起業：受け入れ分野で個人事業主として独立
- 継続支援：住宅支援や助成金の併用可能

メリット

【自治体・事業者】

- 採用前に3年かけて適性を見極められる
- 若手人材の育成と定着が可能

【協力隊員】

- 未経験でも実務を通じて学べる
- 任期終了後の安定就職・定住が実現
- 地域での生活と仕事の両立が可能